



10月3日(土)

東浦自然環境学習の森を考えるワークショップ

東浦自然環境学習の森基本計画の見直しにともない、住民の皆さんのアイデアを反映させるため、全3回のワークショップが開催されました。ファシリテーターに日本福祉大学の福田秀志教授を迎え、将来の里山像や保全活動、利用方法やイベントを話し合い、発表を行いました。参加した方は「様々な年代の地域の方と話す機会ができて、よい経験になった」と話していました。

10月1日(木)

骨折予防月間出発式

東浦町は10月を骨折予防月間とし、この月間の出発式がイオンモール東浦で行われました。イオンモール東浦、イオンスタイル東浦および町長によるテープカットが行われ、骨折予防プロジェクトを監修している名古屋大学の水野正明先生によるビデオメッセージがスクリーンに映しだされました。水野先生は、骨折予防のポイントは自分の骨折リスクを知ることと、骨折予防を生涯続けて習慣化することが大事であると話していました。



← NOW HIGASHIURA
最近、こんなことがありました

TOWN TOPICS

まちの話題トピックス

広報紙に掲載された写真を差し上げています。
※本人が写っている場合に限りです。



町HPでは
最新トピックスを公開中!

問い合わせ 広報情報課 内線288



TOPICS



10月13日(火)

はじめての稲刈り！

緒川小学校5年生88名と東楽会の12名で稲刈りが行われました。児童が田植えをして一生懸命育ててきた稲。カマを使って刈り取り、束にして、乾燥させるまでを体験しました。稲刈りはコツをつかむまで、刈り取るのが大変だったよう。児童は「農家さんの大変さがわかった。大事にご飯を食べるようにしたい」と話しました。東楽会の方も「稲刈りは貴重な経験になると思う」と笑顔で子どもたちを見守っていました。

10月7日(水)

ぶどうはどうやってできるのだろう？

生路小学校3年生50名を対象に、まる春ぶどう園でぶどう園の見学が行われました。実際にぶどう園に入ると天井が低く、数本の木からのびた枝が頭上をはうように、張り巡らされていました。ぶどうのお話を聞いた後は、実っているぶどうを実際に採って食べてみるというお楽しみに、児童は大はしゃぎ。まる春ぶどう園の長坂則夫さんは「作るうえでの苦勞を知ってもらい、味わって食べてもらえるようになればうれしい」と話していました。



編集後記

コロナ川柳の優秀賞が発表されました。「あくわ
かる「たしかに」と思うような力作ばかりで、楽し
ませていただきました。作品だけ見るのも面白い
ですが、年代や職業を見てその様子を思い浮かべ
るのもおすすめです。皆さんの日常のひとコマの
ようすを垣間見たような気がして、さらに楽しめ
ます。ぜひ、おためしを！(H)

スーパーキッズ

加藤 純蓮ちゃん(0歳)

加藤 蓮奈ちゃん(0歳)

やって来たねふたりっ子！一気に
家族が賑やかになったよ。これか
ら一緒に家族で色々な所に遊びに
行くのを楽しみにしてるね。いつ
までもふたり仲良くね！



メールで簡単応募！

町ホームページ

「広報ひがしうらスーパーキッズ
募集」から応募できます。